

令和6年度全国学力・学習状況調査 結果の概要

令和7年1月6日 発行 鹿部町教育委員会

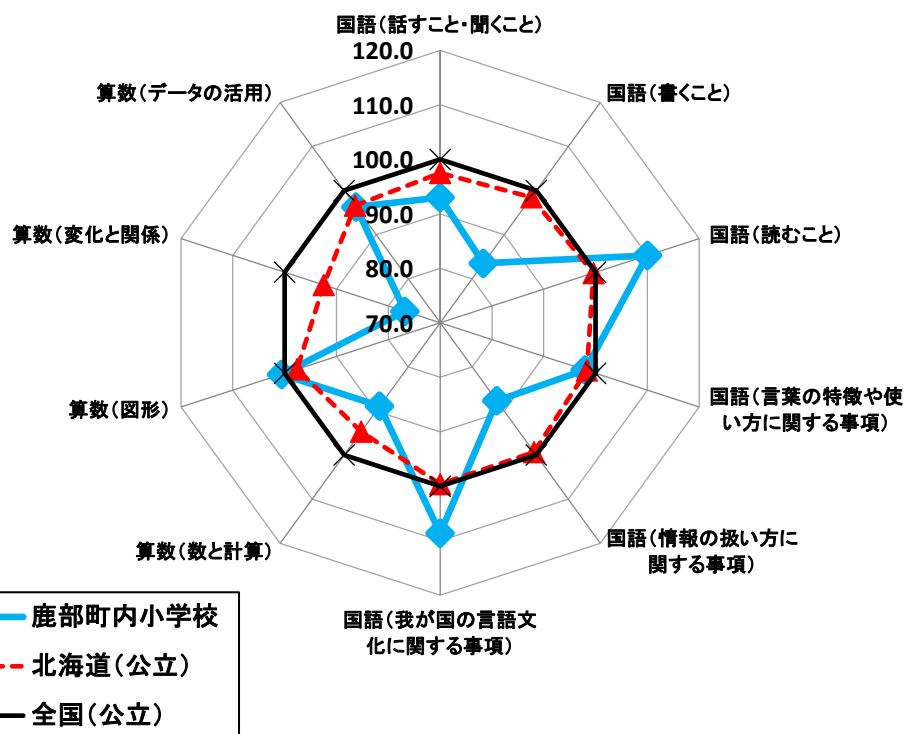
令和6年4月18日に小学校6年生と中学校3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」における鹿部町の児童生徒の傾向を報告します。本年度の調査は、小学校は国語、算数、中学校は国語、数学で実施されました。また、生活習慣等を問う質問紙調査も行われました。

調査結果の概要及び学校の取組

＜小学校の状況と傾向＞

■平均正答率■

	鹿部町	(北海道 公立)	(全国 公立)
国語	66	67	67.7
算数	58	61	63.4



※グラフは、全国を100とした場合で算出（鹿部町の平均正答率÷全国平均正答率×100）

- 国語の平均正答率は、全道、全国とほぼ同様です。算数は、全道、全国を若干下回っています。
- 国語は、「読むこと」「我が国の言語文化に関する事項」については、全道、全国を上回っています。「書くこと」「情報の扱い方に関する事項」については、全道、全国を下回っています。
- 算数は、「図形」「データの活用」については、全道、全国値とほぼ同様です。「変化と関係」については、全道、全国を下回っています。

＜成果に結びついた小学校の取組＞

- ・ 国語の授業を中心に、授業の中での自分の考えを表現する場面を設定し、伝え合うよさに気づかせ、意欲的に表現しようとする力の育成に取り組んだことにより、平均正答率は全道、全国とほぼ同様になったと考えられます。
- ・ 算数の授業において、学習者用デジタル教科書などのICTを活用し、図形に対する理解を深める取組を行ったことにより、全道、全国とほぼ同様の結果になったと考えられます。

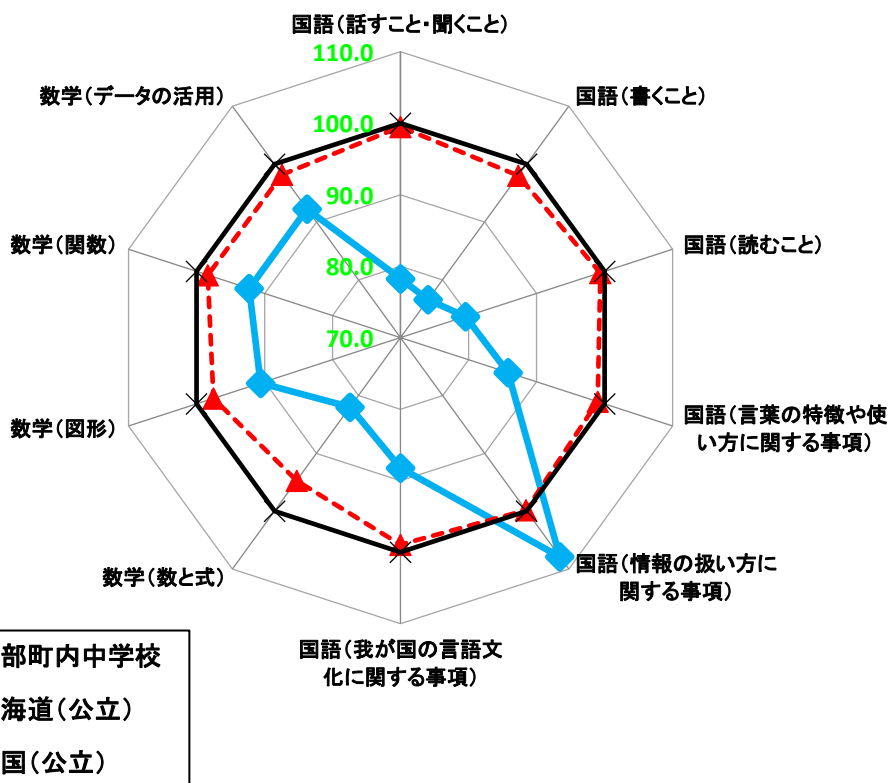
＜課題の改善に向けた小学校の取組＞

- ・ 伝える相手や場面、伝わりやすさを意識した表現の指導の工夫に取り組みます。
- ・ 読書活動を推進することで、語彙力（インプット）を豊かにし、言葉による表現力（アウトプット）を向上させる取組を行います。
- ・ 「読書がんばりカード」などを活用します。
- ・ 学習者用デジタル教科書などのICTを効果的に活用します。
- ・ 家庭学習定着のために、家庭学習強調週間や家庭学習チャレンジカードの取組を行います。

<中学校の状況と傾向>

■平均正答率■

	鹿部町	(北海道 公立)	(全国 公立)
国語	49	58	58.1
数学	47	51	52.5



※グラフは、全国を 100 とした場合で算出（鹿部町の平均正答率÷全国の平均正答率×100）

- 平均正答率は、国語、数学ともに、全道、全国を下回っています。
- 国語は、「情報の扱い方に関する事項」が、全道、全国を大きく上回っています。「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」が、全道、全国を下回っています。
- 数学は、全領域にわたって、全道、全国を下回っています。

<成果に結びついた中学校の取組>

- ・ ICT機器を積極的に活用し、生徒が探求心や意欲を持ち、主体的に学習に取り組む工夫をしたことによって、「情報の扱い方に関する事項」が全道、全国を上回ったと考えられます。
- ・ 学ぶ態度や共感的な人間関係を基盤に、アウトプットや生徒同士の教え合い、外部人材等の協力を得ながら教育活動を工夫したことによって、生徒の主体性が高まったと考えられます。

<課題の改善に向けた中学校の取組>

- ・ 国語は、ノートなどに記述させた生徒の解答について、個別に指導を加え、変容を確認しながら継続指導を行います。
- ・ 数学は、事象を説明する問題や長い文章をしっかりと読み取って答える問題に取り組ませる等、筋道を立てて考え、理由を説明させます。
- ・ 家庭学習に関する指導や家庭への発信。生徒の家庭学習の状況の見取りと個々の生徒に合った助言を継続的にを行います。

鹿部町教育委員会としての取組

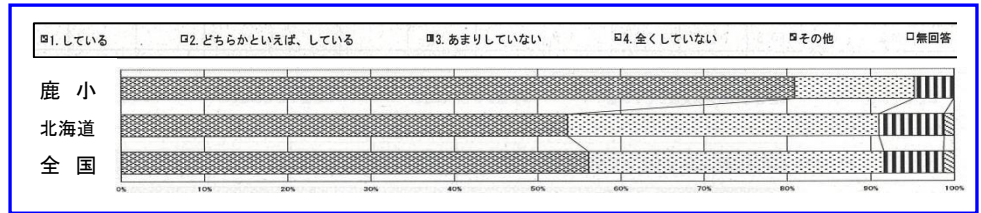
- ◎ 昨年度の小学校に引き続き、中学校に学習者用デジタル教科書を導入し、ICT機器を活用して子どもが主体的に学習していく授業づくりを推進します。
- ◎ AIドリルの充実を図り、タブレットを活用した「自学自習」の習慣が身につく環境を整備します。
- ◎ 公設塾「まなび場」の運営推進を図り、自律的な学習習慣の定着の一助とします。
- ◎ 「新たな研修制度」における町教委主催の教育研修を行い、教職員の資質向上に努めます。
- ◎ ICT支援員の効果的な活用を図り、教職員による効率的な業務推進を支援します。
- ◎ ALTや学習支援員・特別支援員等、子どもたちの学習をサポートする体制の充実に努めます。
- ◎ 鹿部町教育研究所と協力して、幼小中連携による教育活動の充実を図ります。
- ◎ 教育支援センター「マイルーム」を機能させ、不登校児童生徒とその家族のサポートに努めます。

生活アンケート結果に見る子どもの特徴

<小学校 6年生>

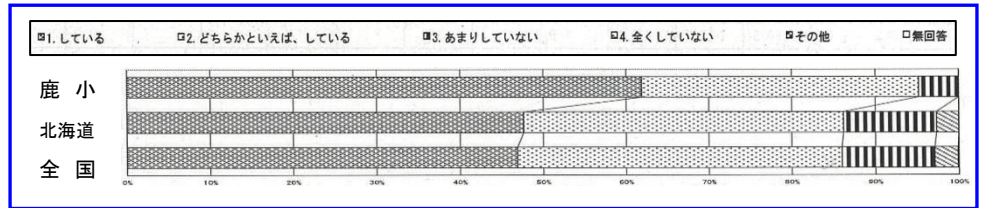
Q 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。

⇒ 鹿部の小学生は毎日同じくらいの時刻に寝たり起きたりできて、基本的な生活習慣が身についています。



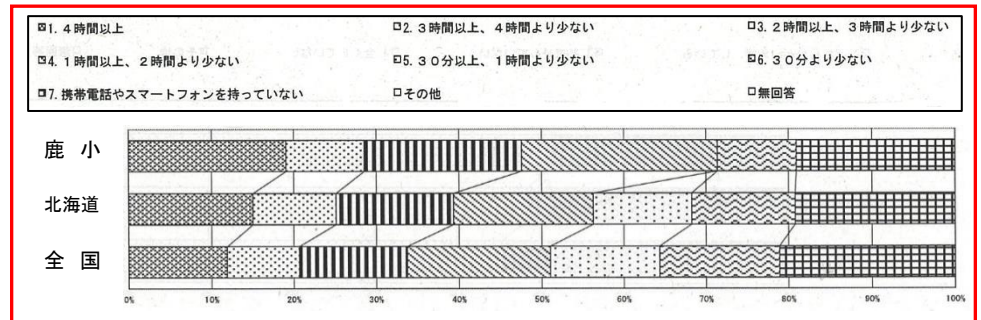
Q 5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、楽しみながら学習を進めることができる。

⇒ ICTを使って楽しく学習しています。



Q 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴をしますか。

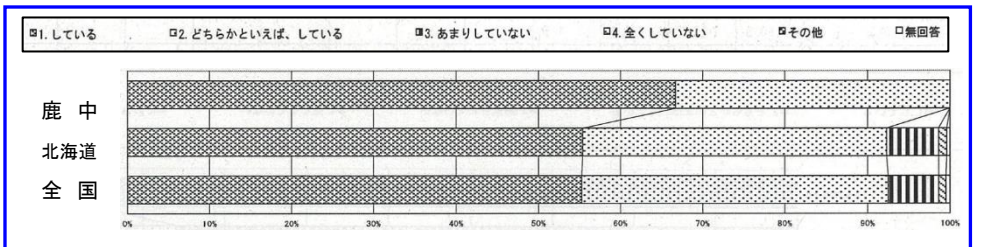
⇒ SNSや動画等の視聴時間は長いようです。



<中学校 3年生>

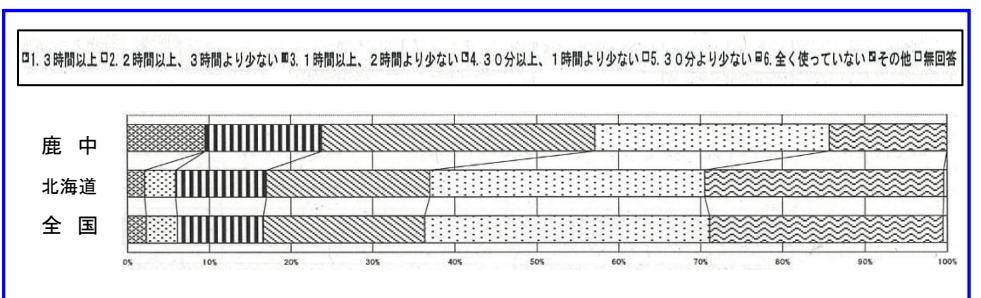
Q 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。

⇒ 鹿部の中学生は、小学生同様に基本的な生活習慣が身についています。



Q 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか。

⇒ 比較的によくICT機器を活用して勉強しているようです。



Q 普段（月曜日から金曜日）1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか。

⇒ 小学生同様に、SNSや動画等の視聴時間は長いようです。

